

エル・ネット「オープンカレッジ」News

Vol.25

2006年10月1日発行 発行:(財)日本視聴覚教育協会 東京都港区虎ノ門1-19-5虎ノ門1丁目森ビル内 <http://www.opencol.gr.jp/>

平成18年度 エル・ネット オープンカレッジ「地域からの発信」

平成18年度の新規コンテンツの放送が10月17日より始まります。今回は、各コンソーシアムより、各コンテンツ内容について、活用例を含めた詳しい紹介文をいただきました。今回と次号のNewsで紹介していきます。各受信施設で、コンテンツを活用した講座などを開講する際の参考にしてください。なお、放送時間は、初回放送が10時から、再放送が15時からになります。詳しくは、ホームページ (www.opencol.gr.jp) でご確認ください。また、各コンテンツのテキストについても、順次ホームページにおいて公開していきます。ぜひご活用下さい。

●秋田サテライト学習推進協議会

◎コンテンツ名：秋田から地球を観察する—南極大陸との関わり—

講師：井上 正鉄 (秋田大学教授)

放送日：10月17日 (火) 10:00~11:00 (再放送15:00~16:00)

講義レベル：初級・入門 対象者：一般市民

◆コンテンツのねらい：

アムンゼンらと「未知の世界」南極点到達を競った秋田の白瀬矗。白瀬南極探検隊の実映像を切り口に、南極観測に関わった秋田、秋田大学人の観測した太古から不変の南極の独特な自然現象、生態系の絶妙なバランスを学ぶことができる。

◆コンテンツの活用例：

南極の科学的な知識を得るために、マスコミが報道するものとは違う、研究者の視点からの南極画像を見ながら受講してもらう。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

国立極地研究所のHP (<http://www.nipr.ac.jp/japan/index.html>) を閲覧したり、実際に白瀬南極探検隊記念館(秋田県にかほ市)に研修に訪れたりするなどして学習を深める。



◎コンテンツ名：秋田から地球を観察する—地下水は大丈夫か—

講師：肥田 登 (秋田大学教授)

放送日：10月24日 (火) 10:00~10:45 (再放送15:00~15:45)

講義レベル：初級・入門 対象者：一般市民

◆コンテンツのねらい：

いつも身近にある水。秋田地域の河川流域と地下水の関係を説明した上で地下水・湧水と人の共生について考察する。また秋田県内において実施している地下水人工涵養の実施と成果を示すことによって、水の大切さについて学ぶことができる。

◆コンテンツの活用例：

地下水・湧水と人の共生、また水を工夫して使用方法などについて学ぶために、地下水の活用、湧水の活用について多面的な事例を見てもらう。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

実際に秋田県美郷町六郷地区にて水、特に地下水・湧水についてのフィールドワークを行い、水に関する知識を深める。身近にある水について分析しながら、“水の世紀”21世紀を考える。

◎コンテンツ名：秋田から地球を観察する 黒鉱が語るもの

講師：水田 敏夫（秋田大学教授）

放送日：11月7日（火）10:00～11:00（再放送15:00～16:00）

講義レベル：初級・入門 対象者：一般市民

◆コンテンツのねらい：

秋田県に多産したレアメタルを含有する黒鉱は、その成因が世界的に注目された鉱床で、その資源の探査技術は現在も広く応用されている。本講義では、秋田大学工学資源学部附属鉱業博物館に展示されている鉱石を例に、海底で生成した鉱物資源について詳しく学ぶことができる。

◆コンテンツの活用例：

黒鉱鉱床のもつ意義や、鉱物資源の大切さ、鉱物資源探査法の重要性について理解を深めてもらうために、実際に鉱業博物館に展示されている鉱石や、鉱山跡の映像を見ながら受講してもらう。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

フィールドワークによって黒鉱について調べるなどして、私たちの日常生活に欠かすことのできない鉱物資源、またその探査法について理解を深める。

実際に秋田大学工学資源学部附属鉱業博物館を訪れ、地域に密着した鉱物資源について学ぶことで“秋田”への理解を深める。



●あおもり教育情報発信・活用促進協議会

◎コンテンツ名：我がふるさとシリーズ（1）「青森県の山 白神山地」

放送日／10月27日（金）10:00～10:30（再放送15:00～15:30）

講義レベル：初級・入門

対象者：成人～高齢者（県民カレッジなどの講座として活用可能）

◆コンテンツのねらい：

白神山地は屋久島とともに、1993年、日本で初めて世界自然遺産としてユネスコに登録された。白神山地の遺産地域を中心に、原生的ブナ林や四季折々の雄大な風景や核心地域の様子等、普段なかなか目にすることができない映像を紹介しながら自然環境保全について考える。また、白神山地を特徴づけているブナ林や地質的な特徴についても学習できる。

◆コンテンツの活用例：

受講者が講座に主体的に参加するために、ビデオを視聴しながら、白神山地地域の特徴を、テキストにメモしてもらう。

白神山地以外の世界自然遺産地域である、屋久島・知床の資料を準備し、自然環境保全に関する相違点、類似点を比較検討する。

受講者が比較検討したことがらについて、意見交換する。

受講者自身が個人として、自然環境保全に如何に関わっていくかを語り合い、まとめとする。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

各地の世界自然遺産地域に関するビデオを視聴する。自然環境保全に造詣の深い講師を招き、話を聴く。



◎コンテンツ名：我がふるさとシリーズ（2）

①北の大地から「七戸地方の米作り」、②津軽の伝統農具

放送日：11月17日（金）10：00～10：35（再放送15：00～15：35）

講義レベル：初級・入門 対象者：成人～高齢者（県民カレッジなどの講座として活用可能）

◆コンテンツのねらい：

機械化以前の自然とともにあった昭和初期の米作りの1年を再現しながら、稲作作業の変遷について学ぶ。機械化された農業の中で息づく農具の製造過程や使用方法を、津軽の伝統農具を作り続けている鍛造工をとおして紹介する。

また、青森県内や県外各地域の農具と比較することで、農業の将来を展望する。

◆コンテンツの活用例：

受講者が講座に主体的に参加し理解を深めるために、ビデオを視聴しながら、テキストにメモしてもらう。地域の特徴ある農具、農法について、知っていることを互いに発表しあうことで当時の農業について想いを馳せ、働く喜びと地域の連帯の強さを理解する。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

郷土史を研究している方を招き、講義してもらう。
各地の郷土資料館、博物館等を見学する。
各地に伝わる伝統的な農法（農業史）について調べ、発表の機会を設ける。
自らの農業体験を子どもたちに語り伝える機会を設ける。



◎コンテンツ名：我がふるさとシリーズ（3）

①幻の鳥オオセッカ、②残された原生花園～屏風山湿原～

放送日：11月28日（火）10：00～10：38（再放送15：00～15：38）

講義レベル：初級・入門

対象者：成人～高齢者（県民カレッジなどの講座として活用可能）

◆コンテンツのねらい：

青森県三沢市の仏沼湿原は一面のアシ原である。ここに生きるオオセッカを始めとする貴重な生物と人間との関係をとおして、自然環境保全について考える。

津軽半島七里長浜沿いに広がる屏風山湿原には、ニッコウキスゲやノハナショウブの大群落が見られ、高地性の貴重な植物も数多い。屏風山形成の歴史と貴重な湿原の保全について考える。

◆コンテンツの活用例：

受講者が講座に主体的に参加し理解を深めるために、ビデオを視聴しながら、テキストにメモしてもらう。

地域の守るべき自然環境に関わる資料を準備し、相違点・類似点を比較検討する。

受講者が比較検討したことがらについて、意見交換する。

受講者自身が個人として、自然環境保全に如何に関わっていくかについて発表し、まとめとする。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

自然環境保全に造詣の深い講師を招き、話を聴く。

各地の郷土資料館、博物館等を見学する。

「地域の自然」に関する文献の一覧表を作成し配布する。



◎コンテンツ名：金沢大学講座「森遊びのすすめ～『朝日・大学パートナーズシンポジウム』から～」

講師：河合 雅雄（京都大学名誉教授・霊長類学者）

放送日：10月19日（木）10：00～11：00（再放送15：00～16：00）

講義レベル：初級・入門 対象者：青少年～高齢者

◆コンテンツのねらい：

霊長類学者の河合雅雄氏は「もっと森を楽しもう」とレジャーや教育、文化などの面から森の活用を訴えている。テレビゲームなどにどっぷり浸かって、バーチャルとリアリティの区別が出来なくなっている子どもたちが多い。こうした子どもたちを森で遊ばせることで、精神のバランスがとれた子どもたちを育成したい。

◆コンテンツの活用例：

野外教育を指導するチューター、あるいは父母の集まりで、青少年問題を論議する際の一つの問題提起として視聴する。その際、講演要旨がテキストとなっており、理解を深めるために役立てることができる。読書会などのサークルで、河合雅雄氏の著書を読む前に、その語りを実際に聞くことで、より理解が深まる。とくに、文字では表現しきれない、学問と経験に裏打ちされた河合氏の言葉の迫力を感じることができる。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

コンテンツの内容に関連して、身近な森を実際に親子やグループなどで散策し、感想を述べ合う。環境問題なども含め論議してもよい。指導者が子どもたちの野外活動の一環として森でのキャンプや川遊びなど行い、そのノウハウを蓄積するなど持続的な森の利用を考える。



◎コンテンツ名：金沢大学講座「今里山で何が起きているのか（上）」

講師：中村 浩二（金沢大学自然計測応用研究センター教授）

放送日：11月9日（木）10：00～10：50（再放送15：00～15：50）

講義レベル：中級：専門的内容 対象者：学生、成人～高齢者

◆コンテンツのねらい：

日本の里山は先人たちが原野や山林を切り開き、農業生産ができるように心血を注いだ地である。それは里山と呼ばれ、適度な管理が施されてきた。しかし、近年、過疎化が進み、あるいは農林業に無関心となった若い世代が増え、里山は放置される傾向にある。竹林の猛威でコナラ林が絶滅したり、またクマが出没する里山が多くなってきた。里山には過疎やエコロジー、それに人々の労働観など、日本の地方における論点がいくつか凝縮されてもいる。これらを広く論じるための問題提起としたい。

◆コンテンツの活用例：

農村における経済問題を論じる際のポイントとなる。とくに農業と林業の戦後史の論点が集約されていて実例として参考になる。

日本における自然と環境問題を読書サークルなどで論じる際に、具体例として参考になる。また、全国の里山を猿回し芸で巡る村崎修二氏（山口県岩国市）の話は中世日本の芸能と里山とのかかわりを裏付ける証言でもあり、芸能史研究としても参考になる。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

里山の実態を知るために身近な里地里山をフィールドワークし、竹林などを実態調査する。

里山問題は漁村である里海の問題でもあり、後継者不足など抱える地方の問題を対比しながら学習する。



◎コンテンツ名：金沢大学講座「今里山で何が起きているのか（下）」

講師：中村 浩二（金沢大学自然計測応用研究センター教授）

放送日：11月21日（火）10：00～10：50（再放送15：00～15：50）

講義レベル：中級：専門的内容 対象者：学生、成人～高齢者

◆コンテンツのねらい：

それでは日本の里山をどう再生すればよいのか。具体的な方策はあるのか。先人たちが原野や山林を切り開き、農業生産ができるように心血を注いだ地である。里山は適度な管理が施されてきた。しかし、近年、過疎化が進み、あるいは農林業に無関心となった若い世代が増え、里山は放置される傾向にある。過疎の集落でありながらも人々が協力し合って里山の環境を守っている能登半島のある集落の取り組みを紹介する。日本の地方における論点が凝縮され、その課題解決を探る視座を与える。

◆コンテンツの活用例：

農村における経済問題を論じる際のポイントとなる。とくに農業と林業の地域の戦後史の論点が集約されており実例として参考に。

日本における自然と環境問題を読書サークルなどで論じる際に、具体例として参考になる。また、過疎化が進む能登半島の集落で人々はいかにして知恵を出しながら地域を守っているのかの分析はコミュニティー論を考察する上で手がかりとなる。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

里山の実態を知るために身近な里地里山でフィールドワークを実施して地域文化などを調査する。

里山や里海はまさしく日本の地方を象徴する問題でもあり、ローカルから日本を考察する一助となる。

●大阪生涯学習情報コンソーシアム

◎コンテンツ名：ボランティア（1）～企業と社会貢献～

講師：尾崎 力（フィランソロピーリンクアップフォーラム）

ファシリテーター：早瀬 昇（大阪ボランティア協会理事・事務局長・大阪大学人間科学研究科客員教授）

放送日：10月26日（木）10：00～10：45（再放送15：00～15：45）

講義レベル：中級 対象者：成人～

◆コンテンツのねらい：

1990年に登場した「フィランソロピー（企業の社会貢献）」から近年の「CSR（企業の社会責任）」への展開など、社会背景とその意味について学ぶ。企業市民として多彩な社会貢献活動や社員のボランティア活動支援、NPOとの協働なども含めた行動の在り方を考える。

◆コンテンツの活用例：

受講者が学習の理解を深めるために、講師が講義で使用した投影データをプリントアウト及びコピーにより、受講者がテキストとして使用し重要な箇所への書き込みをしてもらう。

インターネットでの個別学習は、集中力を継続できるように章ごとにコンテンツを分け、学習者が閲覧したいところから学習できるように画面に一覧性をもたす。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

講義の内容以外にも、講師の活動や企業の社会貢献に取り組む組織の紹介、ボランティアについての関連出版など、受講者が自由に閲覧できる時間と参考資料を用意する。

インターネットの活用において、質問や意見など問い合わせがネット上で出来るようにする。

学習を深めるため、専門家との連携を組み質問や相談への適切なアドバイスを行えるようにする。



◎コンテンツ名：ボランティア（2）～災害支援と社会貢献～

講師：高松 幸司（ジャパンプラットフォーム事務局）

ファシリテーター：中村 安秀（大阪大学人間科学研究科教授）

放送日：10月31日（火）10：00～10：45（再放送15：00～15：45）

講義レベル：上級 対象者：成人～

◆コンテンツのねらい：

難民や自然災害時の緊急援助を効率的かつ迅速に行うため、NGO、経済界、政府などが対等なパートナーシップのもと、それぞれの特性・資源を活かし協力し支援活動をするジャパン・プラットホームの6年間の歩みを紹介する。市民、民間企業、NGOの協働の楽しさと大変さを考えることができる。

◆コンテンツの活用例：

受講者が学習の理解を深めるために、講師が講義で使用した投影データをプリントアウト及びコピーにより、受講者がテキストとして使用し重要な箇所への書き込みをしてもらう。

インターネットでの個別学習は、集中力を継続できるように章ごとにコンテンツを分け、学習者が閲覧したいところから学習できるように画面に一覧性をもたす。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

講義の内容以外にも、講師の活動や社会貢献に取り組む組織の紹介、ボランティアについての関連出版など、受講者が自由に閲覧できる時間と参考資料を用意する。

インターネットの活用において、質問や意見など問い合わせがネット上で出来るようにする。

学習を深めるため、専門家との連携を組み質問や相談への適切なアドバイスを行えるようにする。



◎コンテンツ名：国際ボランティア（1）～NGOと国際貢献～

講師：大西 健丞（ピースウィンズジャパン統括責任者）

ファシリテーター：中村 安秀（大阪大学人間科学研究科教授）

放送日：11月10日（金）10：00～10：45（再放送15：00～15：45）

講義レベル：初級 対象者：大学生～

◆コンテンツのねらい：

世界の紛争地や災害被災地で支援活動を続けてきたNGOピースウィンズ・ジャパンの統括責任者・大西健丞氏の体験と活動の軌跡から、銃撃戦や地雷の被害の実態に迫り、避難民の生活や被災地・紛争地の現状を学び、NGOと国際貢献について考える。

◆コンテンツの活用例：

受講者が学習の理解を深めるために、講師が講義で使用した投影データをプリントアウト及びコピーにより、受講者がテキストとして使用し重要な箇所への書き込みをしてもらう。

インターネットでの個別学習は、集中力を継続できるように章ごとにコンテンツを分け、学習者が閲覧したいところから学習できるように画面に一覧性をもたす。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

講義の内容以外にも、講師の活動や国際貢献に取り組む組織の紹介、国際ボランティアについての関連出版など、受講者が自由に閲覧できる時間と参考資料を用意する。インターネットの活用において、質問や意見など問い合わせがネット上で出来るようにする。

学習を深めるため、専門家との連携を組み質問や相談への適切なアドバイスを行えるようにする。



◎コンテンツ名：国際ボランティア（2）～世界のマイノリティと教育問題～

講師：乾 美紀（大阪大学人間科学研究科助手）

放送日：12月26日（火）10：00～10：45（再放送15：00～15：45）

講義レベル：中級 対象者：成人～

◆コンテンツのねらい：

少数民族、難民、移民などマイノリティと呼ばれる人たちは、教育のアクセスが限定されており、学校内でもさまざまな問題を抱えている。

マイノリティの教育問題に取り組んできた講師が国内・国外のマイノリティの教育問題を解説し、国際ボランティアを考えるきっかけとする。

◆コンテンツの活用例：

受講者が学習の理解を深めるために、講師が講義で使用した投影データをプリントアウト及びコピーにより、受講者がテキストとして使用し、重要な箇所への書き込みをしてもらう。

インターネットでの個別学習は、集中力を継続できるように章ごとにコンテンツを分け、学習者が閲覧したいところから学習できるように画面に一覧性をもたす。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

講義の内容以外にも、講師の活動や、マイノリティの教育問題に取り組む組織の紹介、国際ボランティアについての関連出版など、受講者が自由に閲覧できる時間と参考資料を用意する。

インターネットの活用において、質問や意見など問い合わせがネット上で出来るようにする。

学習を深めるため、専門家との連携を組み質問や相談への適切なアドバイスを行えるようにする。

●久留米地域参画推進連絡協議会

◎コンテンツ名：シニア世代の豊かな「食育」 第1回『エイジングと栄養①』

講師：廣畑 一代（久留米信愛女学院短期大学教授）

放送日：12月5日（火）10：00～10：45（再放送15：00～15：45）

講義レベル：初級・入門 対象者：成人～高齢者

◆コンテンツのねらい：

誰でも加齢により心身機能が低下する。しかし、良い食生活を心がけ、良い生活習慣を保持することにより、長く心身機能を保ち、健康で活動できる寿命を延ばすことが可能である。加齢による心身機能の変化を知り、健やかなシニアライフを長く楽しむための、望ましい食生活について学習する。

さらに参加者自身の食生活を簡易アンケート方式で書き出すことにより、本人の状況を客観的に把握する。食生活の何をどのように変えれば良いのか、個々人のおかれている生活を考慮の上での「思慮深い（prudent）」食生活に向け方向付けをする。

◆コンテンツの活用例：

受講者は、ビデオを視聴しながら、自分の食生活を簡易アンケート用紙に書き出し、自己評価する。バランスのとれた食事の基本として、まずは、「6つの基礎食品」を参考にして、日々の食生活を送る。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

コンテンツの内容に関連して、地元市町村や大学などが開催する健康・食生活講座に参加し、健康と食生活について、新しい知識を学び、実践への動機付けを深める。

さらに、近年発表された「食生活指針」や「食事バランスガイド」を参考とし、毎日の食生活に生かす。



◎コンテンツ名：シニア世代の豊かな「食育」 第2回『エイジングと栄養②』

講師：山下 浩子（久留米信愛女学院短期大学教授）

放送日：12月19日（火）10：00～10：45（再放送15：00～15：45）

講義レベル：初級・入門 対象者：成人～高齢者

◆コンテンツのねらい：

シニア世代が豊かな「食」の体験を通して培ってきた健康生活を、次世代に継承すること（食育）の意義を考える。その豊かな「食」とは何か。食事バランスガイドを参考に解説する。受講者が、自身の食生活（食事）を自己評価し、家庭においてその食事を実践することにより、次世代の家族や親族間への食文化の継承、また学校・地域における食育活動の実践を期待する。

コンテンツの活用例：

受講者が講座に主体的に参加するために、ビデオを視聴しながら、テキストに添付されているワークシート「主食・主菜・副菜の組み合わせ」に記入してもらう。

受講者が学習の理解を深めるために「食事バランスガイド」の説明部分でビデオを止め、受講者自身の食生活をチェックする時間を設ける。

受講者がビデオテープ・DVD化による映像を借り受けて、地域での学習会などで意見交換を行うことにより、さらに理解が深まる。

本コンテンツの学習を深めるために：

コンテンツの内容に関連して、地域の生涯学習センター・公民館等で講座を開講する。
久留米市食育推進協議会と連携し、市民の食育推進活動に活用する。



◎コンテンツ名：シニア世代の豊かな「食育」 第3回『シニアのための食生活』

講師：江越 和夫（久留米信愛女学院短期大学教授）

放送日：1月9日（火）10：00～10：45（再放送15：00～15：45）

対象者：成人～高齢者 講義レベル：初級・入門

◆コンテンツのねらい：

シニア世代が罹りやすい食中毒を中心に解説する。微生物（カビ、酵母、細菌）やウィルスの形態および性質を知り、細菌性食中毒（サルモネラ、カンピロバクター、腸炎ピブリオ等）やウィルス性（ノロウィルス）食中毒の原因食品および予防方法を理解する。また、誤認しやすい植物・キノコの毒についても学ぶ。

後半の講義では、活性酸素による脂質の酸化、脂質の酸化と老化、抗酸化作用の強い食品成分（トコフェロール、ポリフェノール類、カロテノイド、アスコルビン酸）等について「食品に含まれる抗酸化成分の老化抑制機能」を中心に学び、健康で安全なシニア世代を送るための一助とする。

◆コンテンツの活用例：

受講者がビデオテープ、またはDVDによる映像を借り受けし、地域での学習会などで意見交換を行うことにより、さらに理解が深まる。

◆本コンテンツの学習を深めるために：

コンテンツの内容に関連して、地域の生涯学習センター・公民館等で講座を開講する。

久留米市食育推進協議会と連携し、市民の食育推進活動に活用する。

テキストに示されている参考文献を用意し、受講者が自由に閲覧できる時間を設ける。

◆メールマガジンを毎週水曜日に配信しています。講師・講義内容・スケジュールや最新情報をお届けします。配信を希望される方は下記ホームページからご登録ください。

◆放送日及び講座内容は変更されることがあります。ご了承ください。また、天候により番組を見ることができない場合があります。

◆講座内容、テキスト等詳細については、下記ホームページでご確認ください。

◆問い合わせ 文部科学省生涯学習政策局参事官（学習情報政策担当）付

電話：03-5253-4111（内線3263・2941）

www.opencol.gr.jp